

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月19日	
東京都知事 殿	
提出者	
住 所 東京都中野区中野6-3-12	
氏 名 薩摩建設株式会社	
代表取締役 有馬 亮介	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 03-3360-8861	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	薩摩建設株式会社
事業場の所在地	東京都中野区中野6-3-12
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	3,085百万円（令和6年度元請完成工事高）
③従業員数	26名（令和7年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	排出量	100.40 t	130.01 t
	(これまでに実施した取組) ・電子マニフェストの普及促進。 ・分別を実施し、資源の有効利用促進。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	排出量	90.36 t	117.01 t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の発生抑制に努め、発生した廃棄物は、再資源化への取り組みを強化する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各工事現場において、産業廃棄物の適切な分別、再生利用資源化の実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①の現状を継続しつつ、より一層全ての産業廃棄物の排出量削減に努力する。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	19.21 t	90.10 t	491.21 t	65.50 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排 出 量	17.29 t	81.09 t	442.09 t	58.95 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
排 出 量	229.85 t	2.00 t	24.61 t	140.28 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
排 出 量	206.87 t	1.80 t	22.15 t	126.25 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
排 出 量	489.66 t	0.02 t	- t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
排 出 量	440.69 t	0.02 t	- t	- t

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまで実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	100.40 t	130.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	48.00 t	65.70 t
	再生利用業者への処理委託量	100.40 t	130.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
	(これまで実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべく電子 manifests 利用業者を優先して選ぶ。</li> <li>・再生利用可能業者を選ぶ。</li> </ul>		

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	19.21 t	90.10 t	491.21 t	65.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	9.90 t	44.60 t	2.00 t	1.50 t
再生利用業者への処理委託量	19.21 t	90.10 t	491.21 t	65.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
全処理委託量	229.85 t	2.00 t	24.61 t	140.28 t
優良認定処理業者への処理委託量	24.40 t	2.00 t	16.89 t	85.30 t
再生利用業者への処理委託量	229.85 t	- t	24.61 t	140.28 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 4

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
全処理委託量	489.66 t	0.02 t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	404.20 t	0.02 t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	461.96 t	0.02 t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他の汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	90.36 t	117.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	43.20 t	59.13 t
	再生利用業者への処理委託量	90.36 t	117.01 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ①の現状のとおり。		
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
全処理委託量	17.29 t	81.09 t	442.09 t	58.95 t
優良認定処理業者への処理委託量	8.91 t	40.14 t	1.80 t	1.35 t
再生利用業者への処理委託量	17.29 t	81.09 t	442.09 t	58.95 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

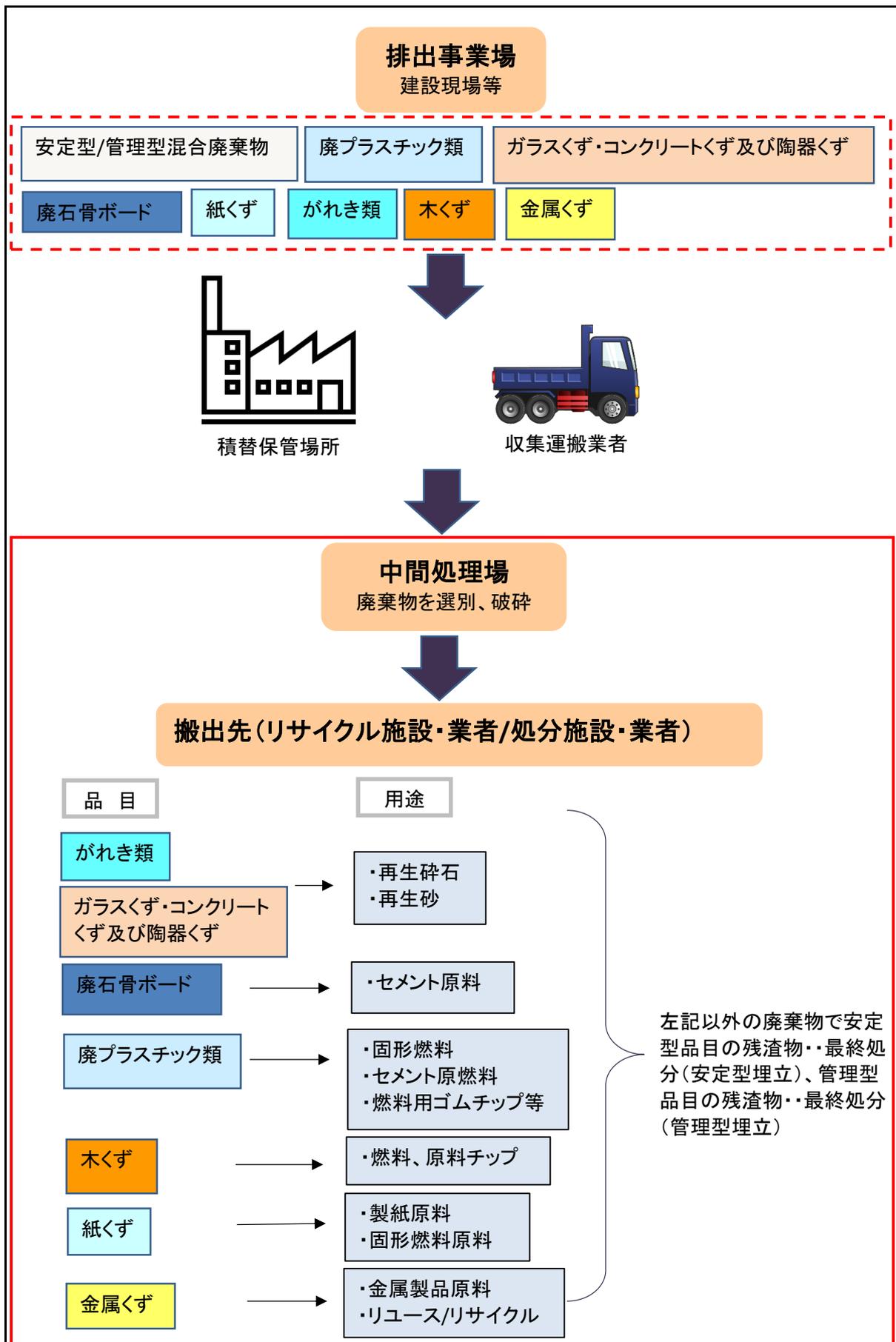
【目標】				
産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
全処理委託量	206.87 t	1.80 t	22.15 t	126.25 t
優良認定処理業者への処理委託量	21.96 t	1.80 t	15.20 t	76.77 t
再生利用業者への処理委託量	206.87 t	- t	22.15 t	126.25 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-	-
全処理委託量	440.69 t	0.02 t	- t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	363.78 t	0.02 t	- t	- t
再生利用業者への処理委託量	415.76 t	0.02 t	- t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別添1 処理工程図



■責任者及び管理体制図

統括責任者	所 属:薩摩建設株式会社	職・氏名:部長
廃棄物担当	組織名:廃棄物事業管理部	職・氏名:部長
	組織人数:5人	
役割	廃棄物事業管理部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理計画の作成</li> <li>・委託契約の締結</li> <li>・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</li> <li>・処理業者、再生利用業者の調査、選定選び管理</li> <li>・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理</li> <li>・その他関係する事項</li> </ul>
	工事部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事・工事管理業務</li> <li>・収集運搬の業務</li> <li>・所有車両の点検整備、配車・作業等の指示</li> <li>・工事環境の整備</li> <li>・その他工事に付随する業務</li> </ul>
	事務部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務、予算、決算に関する業務</li> <li>・廃棄物処理委託契約書の記入、管理</li> <li>・マニフェストの記入、管理、行政報告</li> <li>・その他経理、総務関係等の事務に付随する業務</li> </ul>

社内管理組織図

